

豊橋市自治連合会だより

第10号 発行部数 123,000部

発行 豊橋市自治連合会 平成29年3月発行
事務局 豊橋市市民協働推進課内 TEL 0532-51-2482
http://www.toyohashijichiren.jp/

日本一住みやすいまち 豊橋をめざして

自治連合会会長あいさつ



豊橋市自治連合会
会長 三井 新太郎

日頃より自治会活動に438町の皆様よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、豊橋市制施行110周年の記念すべき年であり、自治連合会としては、「地域の魅力、再発見！〜出かけて、感じて、ええじゃないか豊橋〜」を行い、4月17日魚町安海熊野社を皮切りに、今年1月7日消防出初式まで32か所でそれぞれの地域の特色ある建造物遺跡等でスタンラリーを実施しました(3ページ参照)。1月7日に公会堂で実施した抽選会では、多くの方に参加いただき大変盛り上がりしました。また、市制施行記念式典の8月1日には、プラット前の広場に「自治連合会コミュニティガーデン」と題し、花壇を設置して市民に楽しんでいただきました(4ページ参照)。加えて、自治連合会運営の透明化を図る取組みとして、1月には自治連合会規約を改訂するなどし、次年度に向けて現在準備をすすめています。

一方、社会全体に目を向けますと、昨年は熊本・鳥取・福島県での大きな地震や夏の北海道に台風上陸、年末には新潟県糸魚川市の大火と大変な年でした。幸い、この地域には大きな事故・災害もなく無事一年を過ごすことができましたが、地域においては少子高齢化問題が否応なしに押し寄せています。地域の実情に見合った対応が求められる時代に向け、自治連合会は、地域の安全・安心・日本一住みよいまちづくりのために頑張つて参ります。

今後とも絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



副会長
徳島 結城



副会長
植村 幸司



副会長
天野 明彦

市長へ要望書提出

平成29年1月11日、自治連合会は次の2項目について市へ要望書を提出しました。

- ① 広報とよはしの配布について
- ② 教育環境の整備について

回答は3月に開催する第8回理事会で報告されます。



三井会長(左) 佐原市長(右)

平成28年度 橋市自治連合会定期大会



平成28年度

定期大会開催

提言「28定期大会」を採択

平成28年6月24日、豊橋市公会堂にて、本年度の定期大会が、多数のご来賓によるご臨席のもと、盛大に開催されました。

三井自治連合会会長は少子高齢化などの問題に触れ、「日本一安全で、住みやすい豊橋市を目指しましょう。」との挨拶で幕が開かれました。

永年にわたり校区自治会長(9名)、町自治会長(77名)として活躍された方々への表彰状が、また、平成27年度で退任された校区自治会長(5名)、町自治会長(80名)へ感謝状が贈呈されました。

続いて、平成27年度の事業報告と決算、平成28年度の事業計画と予算が報告されました。さらに、「自分のまちは自分たちで作る」を目指すことが盛り込まれた提言「28定期大会」が採択されました。

提言「28定期大会」

- 一、安全・安心・緑の多い豊かな住み良いまちづくりの推進
- 一、効果的・効率的・透明化の活動推進
- 一、地域の強化と地域コミュニティの充実

佐原市長の言葉



豊橋市長 佐原 光一

自治連合会の皆様には、平素より市政の推進にあたり、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、防災、防犯、交通安全など様々な活動に日々ご尽力いただいております、心から敬意を表します。

さて、私は、昨年11月の市長選挙におきまして、多くの皆様の暖かいご支援をいただき、引き続き市政の舵取りを任せていただくこととなりましたが、持続可能な未来の豊橋を実現するための理想のまちづくりは、市民の皆様のお力無くしてすすめることはできません。とりわけ「未来をささえる安心づくり」として、子育て環境の整備やお年寄りが元気に暮らせる環境づくり、さらには災害に強い暮らしの実現には、地域住民の皆様のお力が不可欠です。

自治連合会の皆様には、様々な地域活動をとおして、住民同士のコミュニケーションを育んでいただいておりますが、地域における顔の見える関係づくりは今後ますます重要になります。「ともに生き、ともに考え、ともにつくる」のキーワードのもと、まちづくりのパートナーとして、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自治連合会がさらなる飛躍をとげられますことを心よりご祈念申し上げます。

市長との懇談会開催

平成28年5月12日、「人口減少化に対応した学校のあり方」をテーマに市長との懇談会を行いました。懇談会には4月に就任した山西正泰教育長にも参加していただき、小中学校の統廃合に対する考え方について、「学校は教育の場であるとともに子どもの居場所であり、地域のよりどころ、災害時の防災拠点であることをふまえ、今後も地域と意見交換を重ね慎重に対応していく。」との発言がありました。

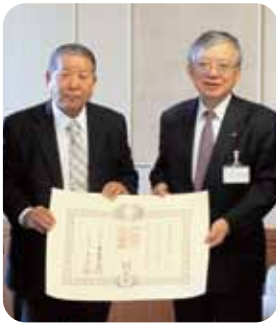
また、子育て世代への支援については、低所得世帯の保育料の引き下げ、多子世帯、ひとり親世帯の保育料軽減などを行っていくとの報告が、まちなかの活性化への取り組みについては、駅前大通りに図書館や広場などの整備を進めるとともに、「歩く楽しみ」のあるまちづくりを行う「ストリートデザイン事業」を推進するとの報告がありました。



自治連合会理事と意見交換す市長佐原

高木 繁元自治連合会長 旭日単光章を受賞

昭和63年4月から平成25年3月までのうち21年間、弥生松原町総代・町自治会長を務められた高木繁元氏が、平成28年11月3日付けで「旭日単光章」を受賞されました。受賞報告のため平成28年12月15日、佐原光一市長を表敬訪問しました。



高木繁元会長(左)佐原市長(右)

視察記

●京都市を訪問して

平成28年5月16日に京都府役所を訪問しました。京都市には、小学校区を基準とした「学区(元学区)」と呼ばれる地域活動単位が組織されています。室町時代の自治組織である「町組」や明治時代の「番組小学校」の歴史を受け継いでいるとのことでした。現在では小学校の統廃合があり、通学区域と「学区(元学区)」の区域は必ずしも一致していませんが、様々な団体による多くの地域活動が、今もこの「学区(元学区)」を中心に実施されています。

翌17日には春日学区を訪問しました。春日学区も、小学校は隣接する小学校に統合されましたが、現在も学区を単位とした活発な活動が維持されています。

また、少子高齢化が進み、自治会への加入促進が課題となっているそうです。各町内会においては、高齢者であっても活動を活発に行っていたければ問題ないとし、各種団体委員を選出し、行事への参加を呼びかけています。

少子高齢化、情報化、グローバル化等、社会は大きく変化しています。これらの変化に地域としてどう対応していくか、住民の知恵を集約していくことが課題解決につながると感じました。



春日学区との意見交流会

●日立市を訪問して

平成28年11月15日、16日の二日間にわたり、茨城県日立市を訪問しました。

日立市は、豊橋市と比較して人口、世帯数が約半分、日立製作所・日立グループの企業城下町です。太平洋に面し、南北に長く、山を背負う丘陵地に位置しています。そのため、東日本大震災の際には津波被害は一部の漁港のみで、被害は少なかったとのことでした。

住民自治組織は23の小中学校区ごと組織されています。また、それぞれのコミュニティ組織の活動の拠点施設として、交流センターがあります。「自分たちのまちは自分たちで」地域でできることは地域で」を目標に掲げ、生活環境の向上、地域福祉の増進をはじめさまざまな活動に取り組んでいました。

翌16日は、日立市塙山学区住みよいまちをつくる会を訪問し、塙山交流センターにて、地域コミュニティの取組みや地域活動などご教示いただきました。

会長の西村さんのお話から、地域住民に、「まちづくりに参加できる機会をどのように提供できるか」、また、「新たな地域課題の解決にチャレンジ」を目標に尽力していることが伝わってきました。

二日間の視察をとおして、都市のおかれた立場を参考にすると共に、微力ながら今後の豊橋のまちづくりの為に活動したいと思えました。



「塙山学区住みよいまちをつくる会」西村会長と

『地域の魅力、再発見～出かけて、感じて、ええじゃないか豊橋～』スタンプラリー

豊橋市制施行110周年記念自治連合会事業 延べ1万5千人が参加

歴史と文化、伝統が生きる町 ふるさと豊橋

訪れた人それぞれが想う時のなごり―「馬越長火塚古墳」「嵩山蛇穴遺跡」「瓜郷遺跡」。

船の安全を守り、海を見つめる―「前芝燈明台」。

由緒ある伝統行事を、現在から未来へと伝える熱い思いと情熱―「御衣祭(松葉・湊神明社)」「笹踊り(老津神社)」「真田祭(杉山、真田神社)」。

今も残る、人情味あふれる人々の生活―「三八の市(旭)」「西の市(新川)」「一五の市(花田)」。

スタンプラリーをとおして、それぞれの地域がもつ歴史や文化、自然の美しさ等を再発見するとともに、この地域の歴史の中で、ふるさとへの深い思いを持ち、今も明るくたくましく生きる。そんな、豊橋の人たちのすばらしさに会うことができたのではないのでしょうか。



7月10日(日)
ええじゃないか発祥の地(牟呂校区)320人参加



8月21日(日)、9月11日(日)
一五の市(花田校区)617人参加



10月1日(土)
笹踊りの奉納(老津校区)360人参加



11月26日(土)、27日(日)
普門寺もみじ祭(谷川校区)402人参加

盛大に行われたスタンプラリー抽選会 582人が参加

1月7日(土)、豊橋市公会堂にてスタンプラリー抽選会が盛大に開催されました。特賞「TDRディズニーホテルペア宿泊1dayパスポート付」のほか、金賞、銀賞、銅賞合わせて110本に加え、市長賞、議長賞、自治連合会長賞、豊橋鉄道賞などたくさんの賞品が当たる抽選を行いました。



第62回 ええじゃないか豊橋まつり 10月15日(土)・16日(日)

さわやかな青空の広がる好天に恵まれ、今年も延べ65万人の参加で盛り上がりました。

上品なブルーの衣装に身を包んだ第57代目豊橋まつりクイーンは、今年も総おどりに、パレカに、2日間はじける笑顔で豊橋まつりを盛り上げました。ダンス曲はカーリー・レイ・ジェプセンの「アイ・リアリー・ライク・ユー」でした。(三菱レイヨン株式会社豊橋事業所からの衣装提供は49回目)



豊橋球場でのオープニングセレモニー



パレカで踊るクイーン

中学生も参加しての防災訓練

鷹丘校区

平成28年度校区の防災訓練が、師走に入って最初の日曜日に小学校のグラウンドで開催されました。避難訓練には、幼児や小・中学生から80歳を超えた方まで約600人余が参加しました。この校区も同様のことだと思いますが、避難訓練は、まず最初の集合場所（指定した空き地または近くの公園）に地域ごと的小グループで集合します。そこから防災リーダーの指揮のもと、町全体の集合場所となる公園に移動し、参加人員を把握します。その後、町単位で校区全体の集合場所となる小学校のグラウンドへ移動します。

全体で集合した後の体験訓練は、消火訓練・応急救命訓練・起震車、そして、電力会社からは停電時の対応などを学習しました。

特筆すべきことは、鷹丘校区では各町の集合場所での状況を、13年前に結成した校区内のアマチュア無線資格者のグループを活用して、防災訓練本部と連絡を取るようになっていることです。また、東陵中学校生徒の参加があることです。有事となれば、昼間の時間帯動きに出ている大人は、地域において期待できません。学校の協力もあり、在学中必ず一回は防災訓練の参加を必須にして地域連携を作り上げていきます。

生徒たちは身近な地域住民との共同作業だけに、興味津々覗き込みながらも、積極的に各訓練に取り組む、頼れる中学生の姿を見ることができました。



訓練に取り組む中学生

下地自主防災会

下地校区

下地校区は、隣接する大村・津田校区とともに四方を豊川と豊川放水路に囲まれ、万一の大災害発生時に孤立する可能性が心配される地域です。そこで、必要な自主的な防災・減災活動として、平成23年に下地自主防災会（SEA）が発足しました。

会を組織するにあたり、校区全体を5つのエリアに分け、それぞれリーダーの下で独立した防災組織を作りました。28年度は、防災意識の高い30代〜50代を中心に総勢93名のメンバーで活動しました。

防災マップの作成では、自分たちの足で確認した避難場所、消火設備、AED、危険箇所等を詳しく記載したものをエリアごとに作成し、全戸に配布しました。また校区内で営業されている事業所の多くに防災活動に賛同していただき、マップに載せました。

配備されている防災倉庫、防災機材、水防設備の管理はもちろんのこと、校区防災訓練では、毎年テーマを決めて、主に体験型で行っています。ベースとなるのは「自分の命は自分で守る」。自助共助公助のうちの自助共助の部分をしっかりと根付かせて行けたらと考えています。

嬉しいことに26・27年度は、市と県から活動を認めていただき、28年度名古屋大学で行われた「あいち防災・減災カレッジ」の先進的活動として発表させていただきました。

今後とも気づいたこと、出来ることから活動を続けていきたいと思っています。



防災マップを確認しながらの避難訓練

平成28年度 豊橋市自治連合会 事業報告

I. 重点推進事項

- 1 明日の豊かなまちづくり
市民館を拠点に地域のコミュニティ活動の実施など
- 2 安全で明るい市民生活を築くまちづくり
交通安全市民運動の推進
防犯活動の推進
- 3 青少年が健康で明るく育つまちづくり
青少年健全育成会を中心に、パトロールの実施
非行防止活動と明るい家庭づくりの実践
地震等災害から市民を守るまちづくり
危機管理体制の強化
- 4 自主防災会の充実と防災意識の高揚など
総合防災訓練への参加など
- 5 美しく住みよい緑のまちづくり
530運動および愛市憲章の実践と啓発
快適な暮らしを目指すまちづくり
- 6 資源、エネルギーを大切にするための自主的な活動の推進など

II. 一般推進事項

- 1 受託業務の実施
市行政の健全な発展を図るため、「広報とよはし」の配布など市の業務について業務委託契約を締結
- 2 豊橋まつりへの参加
各校区自治会よりクイーンを選出し、イベントなどへ参加
- 3 共同募金、歳末たすけあい運動などへの協力で献血運動への協力など
- 4 地域で献血運動への協力など

III. 特別推進事項

- 1 自治会活動の充実と活性化の促進
- 2 市民協働によるまちづくりの推進
- 3 市制施行110周年記念事業の推進

豊橋市制施行110周年記念シンボルイベント
夏色MERRY blossom
～笑顔あふれる花のまち～

自治連合会コミュニティガーデン

豊橋市制施行110周年を記念して、豊橋市との市民協働事業で、8月1日の式典のメイン会場である「穂の国とよはし芸術劇場プラット」の北側芝生広場（ロータリー）にメインオブジェを1台、校区自治会がデザインしたオブジェを8台飾りました。

校区自治会のオブジェは、市内を8つのグループに分け、それぞれの地域の特徴を模した花壇でまちなかを彩り、式典参加者やまちなかを訪れる多くの市民をお迎えました。

編集後記

今年もまた、新一年生の元気な声が聞こえる季節がやってきましたね。
みなさんで、安全・安心なまちづくりを目指してがんばっていきましょう。

【編集委員】

- 徳島結城、大谷代里子
- 林 信雄、原 基修
- 伊藤徹雄